MSCクルーズはシンガポールで処女航海を祝いました

[2015年3月5日
、ジュネーブ]MSCクルーズ初となるドバイからオーストラリア・パースへの33泊のグランドボヤージュで航行中のMSCオーケストラが、13港の寄港地のうち、6番目となるシンガポールに3月5日
に到着しました

キーパートナーと政府関係者がMSCオーケストラに乗船し、MSCクルーズを体験

[2015年3月5日 、ジュネーブ]
MSCクルーズ初となるドバイからオーストラリア・パースへの33泊のグランドボヤージュで航行中のMSCオーケストラが、13港の寄港地のうち、6番目となるシンガポールに3月5日
に到着しました。

MSCクルーズのアジア都市への初航海を祝し、2,550名の乗客を乗せたMSCオーケストラを披露する特別イベントを開催、メディア、旅行会社を始め、地元当局者、ビジネスリーダー、VIPゲストが参加しました。

MSCクルーズのCEO、ジャンニ・オノラートはゲストを迎え、
「今日は当社の航海において歴史的な瞬間です。MSCクルーズがこの素晴らしい都市、シンガポールに初寄港しました。MSCオーケストラが先駆けとなったグランドボヤージュでは13港全てがMSCクルーズにとって初寄港地となるのです。」と述べました。

「私たちは予見できる将来において、成長過程にあるアジア市場の可能性をどれほど確信しているかを示すために、シンガポールに来ました。」と付け加えました。

イベント会場でのプレゼンテーションで、MSCクルーズ、エグゼクティブ・ダイレクター・エマージング・マーケットのアントニオ・パラディーソは「当社は2004年から800%の成長を遂げています。2014年には12隻を保有し、1日の乗客数が40,000人に達しました。さらに2022年までに最新鋭の新造船7隻が導入されると、供給数は現在の2倍となります。当初、1年間で80,000人だった乗客数が、投資計画完了後には1日で80,000人となります。この成長は新規市場、地域、未開拓の航路など、新たな機会への扉を開くことになるでしょう。」と述べました。

2014年は進行中のルネサンスプログラムで拡張した船の再航行も始まり、充実した年となりました。今年は10%のさらなる成長を見込んでいます。また2015年には、MSCクルーズは地中海におけるマーケットリーダーとしての認知度を一層高めるべく、態勢を整えていきます。

また、パラディーソは「アジアは世界中のクルーズにとって、すでに強力な市場です。MSCクルーズは世界最大級の非上場企業のひとつであり、何千人ものアジアの旅行者がヨーロッパへの旅を委ねたいと思うクルーズ会社です。」と付け加えました。

シンガポール観光局のニータ・ラックマンダス氏（Assistant Chief Executive, Business Development
Group）も、この動向を賞賛し、MSCオーケストラのシンガポール寄航を歓迎して、こう述べまし

た。

「この発展は地域のクルーズ・ハブとしてのシンガポール、そして東南アジアの可能性の証です。シンガポールの航空便接続やスムーズな交通網は、クルーズのコースを増強し、より多くの旅行者にシンガポールを利用して東南アジアを発見する機会を提供することになるでしょう。

多くは知られていませんが、東南アジアは25,000の島々があり、国際都市から自然のままのビーチまで様々な魅力、ユネスコ世界遺産を持ち、それ自体がクルージングに最適の場所です。私達は世界中の旅行者がMSCオーケストラを通じて、アジアで多くの体験を得るであろうことを大変嬉しく思います。」

アントニオ・パラディーソは、最後にこう述べ、締めくくりました。
「このイベントに参加してくださった全ての方々、特に遠方からお越しくださった皆様に感謝申し上げます。そして、この街の温かい歓迎に心から喜びを感じています。」

2月20日
、MSCオーケストラはドバイを出港し、3大陸8カ国、13港に寄港するグランドボヤージュがインド・ムンバイに向けて出発、27日にコーチに寄港し、スリランカ・コロンボへ向け真南に航路をとりました。その後、プーケット(タイ)、ランカウイ(マレーシア)に寄港しシンガポールに到着、1泊停泊したのち、バリ島（インドネシア）ブノア港に8日に到着しました。さらに4日間の航海を経て、オーストラリアのケアンズに向かいます。

MSCオーケストラは南下し、ブリスベン、シドニー、メルボルン、アデレードで初寄港を祝い、最終目的地であるパースのフリーマントル港に到着します。

シンガポールの息をのむような素晴らしい景観は、MSCオーケストラで催されたイベントに華を添えました。多様な文化が交差する地で、ゲスト達は歴史と現代性が交錯するこの街の魅力に浸りました。それは、MSCクルーズが持つ長い航海の伝統と、あらゆる側面で乗客へのサービスに現代性を取り入れるという概念と共通しています。

MSCオーケストラのグランドボヤージュがアジアへの初寄港となったことで、
MSCクルーズはアジアの人々にとって、彼らを地中海やメキシコ湾へ誘うクルーズ会社となりました。

【MSCクルーズについて】
MSCクルーズは地中海、南アフリカ、ブラジルにおけるマーケットリーダーであり、世界中を運航しています。年間を通じて地中海一帯を航行、また季節により北欧、カナリア諸島、大西洋、カリブ海、アンティル諸島、南米、南・西アフリカ、アラブ首長国連邦に配船。最新鋭の客船を12隻所有しています－ファンタジアクラスのMSCプレチオーサ、MSCディヴィーナ、MSCスプレンディダ、MSCファンタジア、ムジカクラスのMSCマニフィカ、MSCポエジア、MSCオーケストラ、MSCムジカ、リリカクラスのMSCシンフォニア、MSCアルモニア、MSCオペラ、そしてMSCリリカです。MSCクルーズは高い品質管理と環境保護を認められ、ビューローベリタスより「６つの金真珠」賞を受賞した世界唯一の企業です。また、食品管理全般において陸上・海上共に高い安全性を達成し、ISO9001とISO22000を取得しました。世界中でリーダーシップを発揮する以上、運営する地域の自然環境や人的環境に対する責任があると考え、2009年にユニセフと長期にわたるパートナーシップを締結。ブラジルの恵まれない子供たちが高い教育を受けるためのプロジェクトに対し、これ

まで約300万ユーロを提供してきました。2014年初めに更新されたパートナーシップでは、発展途上国や非常時における飢餓や栄養失調に取り組むユニセフを支援しています。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社MSCクルーズジャパン マーケティング部/担当：富岡
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目3番10号 虎の門きよしビル2F
電話： 03-5405-9401 FAX: 03-5405-9212 ウェブサイト：www.msccruises.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com